

2021年度 第9回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2021年12月23日（木）

場 所 豊岡市役所本庁舎3階 庁議室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午後1時30分

閉会時間 午後2時30分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公 治
委員（教育長職務代理者）	佐伯 和亜
委員	向井 美紀
委員	飯田 正巳
委員	成田 壽郎

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	堂垣 真弓
	教育総務課長	永井 義久
	こども教育課長	和田 晃典
	こども教育課参事（こども支援センター所長）	惠後原 博美
	こども育成課長	木下 直樹
	教育総務課参事兼課長補佐	木之瀬 晋弥
	教育総務課教育総務係長	藤田 祐

事務局以外 文化振興課長 米田 紀子

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

佐伯 和亜 委員

第2 前回の会議録の承認

2021年11月24日（水）開催 第8回定例会

第3 教育長の報告

第4 地域コミュニティ振興部の報告

1 文化振興課

- (1) 青年団子ども参加型演劇「サンタクロース会議」学校公演実施報告について
- (2) 出石永楽館狂言鑑賞教室実施報告について

第5 議事

- 議案第19号 令和3年度12月補正（国補正予算関係分）教育関係予算案に関する意見について
- 議案第20号 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画の策定について
- 報告第28号 令和3年12月市議会答弁概要について
- 報告第29号 寄附物件の受納について

第6 教育委員会事務局の報告

1 教育総務課

- (1) 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画（案）説明会及びパブリックコメントの結果について
- (2) とよおか教育プラン2022年度実践計画策定の進め方について

2 こども教育課

- (1) 2021年度卒業（園）式・2022年度入学（園）式等日程について
- (2) 問題行動等の状況について
- (3) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

3 こども育成課

- (1) 2022年度幼稚園・保育所・認定こども園・放課後児童クラブの申込み状況について

第7 委員活動報告

第8 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

開会 午後1時30分

（教育長）

ただ今から、2021年度第9回教育委員会会議を開会いたします。本日はすべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

（教育長）

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は、佐伯委員にお願いしたいと思いますのでよろしく申し上げます。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

日程第2 前回の会議録の承認についてです。11月24日に開催しました第8回教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回11月24日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

《教育長の報告概要》

1つ目は、12月13日から12月16日まで、4日間にわたり市議会一般質問が開催されました。今回、新しく議員になられた方が9人おられ、議場の雰囲気というか、空気が変わった感じがありました。選挙中にまちのいろいろな声を聞かれ、そうした声を一般質問に落とし込んでいて、ハッと気付かされるような質問もありとても新鮮な感じを受けました。

また、傍聴人として若い人と女性がすごく多かったことと、議会ライブ中継では、インターネット回線がパンクしてしまうほど、多くの市民が今回の一般質問に関心を寄せ、見ていただいたことはとても嬉しいことでした。私たちが丁寧な答弁を心掛けたいと改めて思いました。

2つ目は、12月20日から実施している学期末学校訪問のことです。各校を約20分の駆け足で訪問するのですが、今学期を振り返って、子どもの様子や先生たちの様子、教育課題等について、報告を受けました。ある学校の校長から「なかなか落ち着かない子どもたちが多く、不登校傾向の子どもも多い。問題行動も多い。子どもの家庭環境があまりよくない」という報告の中で、「自校がこの地域の学校給食センター内で残食量が一番多い」ことにも注目されていました。つまり、食のアンバランスが心身の不安定さを作り出しているのではないかということです。このことはきちんと学校で検証していただくようお願いしておきました。

私も過去に給食と学級経営について調べたことがあり、荒れている学校、学級は、残食量がすごく多いという実態がありました。原因はいろいろですが、偏食の多い子どもに不登校の子どもが多いともいわれています。子どもの偏食がなぜ起きるのかということですが、1つ目に、舌や味の感覚が過敏であること。2つ目は、過去に食べることで嫌な思いをしたことがあること。吐いたとか、何かにあたったということがあり、トラウマになって、食べること自体が嫌になり拒否するというものです。3つ目は、新しい物や今まで食べたことがない物に挑戦しない傾向があること。4つ目は、親も好き嫌いが多くあること。

その学校の残食量の問題については、どのような原因で起きているのかをしっかりと調査し、家庭に原因を伝えていく必要があります。偏食の多い子どもの家庭では、親が子どもに負けてしまっていて、子どもが食べやすいものや食べさせやすいもの、食べたがるものばかりを与えるため、栄養の偏りが出てきます。不登校にはそうした家庭環境がものすごく反映されるといわれています。

不登校のことを研究している方は、偏食があることは、不登校の一つの表れかもしれないとも指摘されています。たかが給食のことですが、残食量が一番多いことには、何らかの原因があるのではないかと課題意識を持ち、原因や原因を取り除くために取り組むことがはっきりしていくことは重要なことだと考えています。

【日程 第4 地域コミュニティ振興部の報告】

(教育長)

日程第4 地域コミュニティ振興部の報告に移ります。文化振興課 (1) 青年団子ども参加型演劇「サンタクロース会議」学校公演実施報告について、(2) 出石永楽館狂言鑑賞教室実施報告について、文化振興課長の説明をお願いします。

1 文化振興課

(1) 青年団子ども参加型演劇「サンタクロース会議」学校公演実施報告について

《文化振興課長の説明概要》

青年団子ども参加型演劇「サンタクロース会議」学校公演実施報告について、資料に基づき説明する。

今年度は、11月17日から30日までの間に、3会場で実施した。先生方のアンケート結果では、回答いただいたすべてで「大変よかった」「よかった」であった。また、いくつか要望をいただいているので、可能な限り対応し、来年度の実施に向かいたいと思っている。

子どもたちのアンケート結果では、「つまらなかった」の回答をした子どもが3人いた。いずれも公演の登場人物「ガミガミ博士」に対する苦情であったが、劇に入り込んだうえでの感想だと受け止めている。文化振興課としては、ぜひともこの公演を来年度以降も継続したいと訴えて実施していきたいと考えている。

(2) 出石永楽館狂言鑑賞教室実施報告について

《文化振興課長の説明概要》

出石永楽館狂言鑑賞教室実施報告について、資料に基づき説明する。

昨年度は残念ながら、希望者のみの鑑賞であったが、今年度は無事、全小学6年生に見てもらうことができた。先生方からは、「画面に向き合う機会が多い中、実際に本物を生で体験することのできる素晴らしい教室だと強く感じた」「児童にとって貴重な体験となった」などの感想があった。

子どもたちの反応は、導入部分の反応もよく、面白い場面ではよく笑っていたと感じている。また、感想においても「演技者の迫力がすごかった」や「それぞれの個性が出ていて面白かった」などをいただいている。サンタクロース会議と同じようにいくつか要望をいただいているので、できる限り改善し、来年度の実施に向けて検討していきたいと思っている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(佐伯委員)

サンタクロース会議を見させていただきました。とても子どもたちが喜んでいて、楽しそうに過ごしていたので、とてもよかったと思います。毎年実施され、本当にありがたいと思っています。ただ、会議の中で「12月24日の誕生日なんて、嫌だよね」という劇団の方の発言がありました。参加している子どもの中に12月24日が誕生日の子どもがいましたので、「あの発言は子どもが傷つくのでよくない」ということを劇団に伝えてもらうよう文化振興課の職員にお願いしました。

その後に実施された会議では、その発言はなくなったのでしょうか。

(文化振興課長)

当日の2つの公演が終わった後で、劇団は今日の反応の受け答えがどうだったかなど反省会を開かれます。そのときに、ご意見を伝えています。

会議後、12月24日が誕生日の子どもが「実は僕、誕生日が12月24日なんだ。だから、2倍プレゼントがもらえるので嬉しいんだ」と話しているのを職員が聞いていました。その子どもは好意的に受け止めておられました。劇団は言葉のプロであり、いろいろと改善されていくと思います。ただ、公演の流れの中で、その発言を急になくしてしまうことは、劇団としても難しいのかなと思っています。

その後の公演で発言がなくなったかどうかまでは確認しておりません。

【日程 第5 議事】

(教育長)

日程第5 議事に移ります。議案第19号 令和3年度12月補正（国補正予算関係分）教育関係予算案に関する意見については、この後、議会に議案として提出され、議決を得るべき事項になりますので、豊岡市教育委員会会議規則第17条により、非公開としたいと考えますが、いかがでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

それでは、委員の承認を得ましたので、議案第19号は非公開といたします。本日は傍聴人がありませんので、このまま会議を進めます。

○ 議案第19号 令和3年度12月補正（国補正予算関係分）教育関係予算案に関する意見について

【非公開会議】

《 令和3年度12月補正（国補正予算関係分）教育関係予算案に関する意見について、教育総務課長、こども教育課長、こども育成課長が説明し、審議の結果、異議なしと承認された 》

（教育長）

ここまでが非公開の審議となっております。本日は傍聴人がありませんので、このまま会議を進めます。

続きまして、議案第20号に移る前に、関連していることとなりますので、教育委員会事務局の報告、教育総務課（1）豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画（案）説明会及びパブリックコメントの結果について、繰り上げて報告いたします。教育総務課長の説明をお願いします。

【教育委員会事務局の報告】

1 教育総務課

（1）豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画（案）説明会及びパブリックコメントの結果について

《教育総務課長の説明概要》

豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画（案）説明会及びパブリックコメントの結果について、資料に基づき説明する。

11月25日から12月6日までに、豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画（案）説明会を6会場で開催した。説明会には合計243人が参加され、いろいろなご意見をいただいた。

4 意見交換・アンケート結果について、（1）総括としては、全体としては学校再編の必要性を理解いただいた。（2）主な意見では、イ 個別の再編案については、豊岡地域では「中筋小は新田小ではなく、将来を見据え八条小と統合することはできないか」、竹野地域では「竹野地域では、現在の中学校で小中一貫教育をするべき」「施設一体型小中一貫校は、場所、体育館、プール、校舎を含めてしっかり協議してもらいたい」、日高地域では「八代小の小規模特認校の導入の要望書をPTAと区長会から提出した。早期に意見交換の場を持ってほしい」「小規模特認校は、設置後の児童数の確保については誰が責任を持つのか」、出石地域では「出石地域で小学校は1校に統合という意見が前回もたくさんあった。1校に統合は具体的にないのか」、但東地域では「認定こども園も含む施設一体型小中一貫校では、認定こども園を含めたカリキュラムマネジメントをして、5歳児も安心して期待を持てる学校づくりをしていただきたい」などのご意見をいただいている。

ウ 計画の進め方については、「意見を十分に聞いていただきたい」など、エ 学校跡地については、「地域デザイン懇談会では竹野小学校の移転を前提に、跡地をスポーツ施設や公園の要望を出した。また、避難場所も踏まえ検討してほしい」など、オ その他については、「豊岡小学校は2つの中学校に分散進学するが、今後1つの学校に行くことはあるのか」のご意見をいただいている。5 パブリックコメントの結果について、34人から64件のご意見をいただいた。

説明会やパブリックコメントを踏まえて、豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画を策定している。

（教育長）

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、議案第 20 号 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画の策定について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 議案第20号 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画の策定について

《教育総務課長の説明概要》

豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画の策定について、資料に基づき説明する。

計画の策定に係る計画案からの修正箇所としては、次のとおりである。

出石地域の再編スケジュールについて、「小学校を 1 校」への再編検討を、計画の後期となる 2027 年以降に前倒ししている。

福住小と寺坂小の再編の考え方について、「寺坂小学校では、既に複式学級が生じていることから、早期の再編が必要です。寺坂小学校と福住小学校は、現在、小小連携教育を実施しています。また、両校は同じ旧室埴村内であり、歴史的なつながりがあります。このため、寺坂小学校と福住小学校の再編を最優先に進めます。なお、出石地域の説明会等での「出石地域で小学校を 1 校に」との意見を踏まえ、今後の児童・生徒数の推移等を注視しつつ、計画後期の段階で広く保護者・地域の意見を聞きながら、出石地域全体での小学校の再編を検討します。」に修正している。

小坂小と小野小の再編の考え方について、「小野小学校は、2025 年に児童数が 50 人を下回り、この年の前後から複式学級が生じる見込みとしています。このため、複式学級が生じる前に小坂小学校との再編を優先して進めます。なお、出石地域の説明会等での「出石地域で小学校を 1 校に」との意見を踏まえ、今後の児童・生徒数の推移等を注視しつつ、計画後期の段階で広く保護者・地域の意見を聞きながら、出石地域全体での小学校の再編を検討します。」に修正している。

そして、学校跡地利用について、「学校は、児童・生徒への教育的機能が第一ですが、コミュニティ活動や地域活動を支える中心的な施設としての機能も担っていることから、跡地の利活用については、早期に検討を始める必要があると考えています。学校跡地の利活用については、地域の意向、ニーズに配慮したうえで、第一に市が必要とする機能の確保を、第二に公共的な団体等による事業の必要性を検討します。それらの活用策が見いだせない場合には、第三として民間の独創性、専門性や企画力を生かし、地域の活性化につながる活用を模索していきます。これらの活用策の検討は、地域と協議・調整を図りながら進めていきます。なお、活用策が決まるまでの間は、引き続き地域での利用ができるよう配慮します。」に修正している。

その他、全体の計画としては資料のとおりである。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(向井委員)

例えば、奈佐小でも港西小でも跡地のことはあまり検討もせずに統合が進みましたが、竹野地域については、きちんと検討していただきたいという意見が出ていました。

しかし、跡地のことを検討していると統合が遅くなりますので、跡地のことは別にし、統合の件を先に進めてくださるのでしょうか。跡地についての目途がつかなくても、小中学校適正規模・適正配置計画は前に進むということによろしいでしょうか。

(教育総務課長)

学校跡地利用の担当部署といろいろとやりとりする中で、一つ一つ不安な点を潰していく必要があるという話をしております。避難場所の件では、1,000年に一度の大災害による津波の浸水想定においても、竹野小学校の建っているところまで津波は来ないだろうということをしっかり市民の皆さんにお伝えし、必要ならば議論することも考えていきます。

他にも、スポーツ施設や公園などのご意見やプールをどうするのかという問題があり、内部でいろいろと調整すべきことがたくさんあります。どうかたちがベストなのかを考え、意志決定を図りながら、統合が遅れないように努力したいと思っています。

(教育長)

その他、ご質問等はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、議案第20号 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画の策定について、原案のとおり可決してよろしいか。

(委員)

異議なし

(教育長)

それでは、議案第20号 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画の策定について、原案のとおり可決します。

続きまして、議事報告です。報告第28号 令和3年12月市議会答弁概要について、教育次長の説明をお願いします。

○ 報告第28号 令和3年12月市議会答弁概要について

《教育次長の説明概要》

令和3年12月市議会答弁概要について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、令和3年12月市議会答弁内容について、ご承知おきください。

続きまして、報告第29号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第29号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体2件、個人1件、合計3件の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

続きまして、日程第6 教育委員会事務局の報告に移ります。教育総務課 (1) 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画(案)説明会及びパブリックコメントの結果については、先ほど報告しましたので、(2) とよおか教育プラン2022年度実践計画策定の進め方について、教育総務課長の説明をお願いします。

【日程 第6 教育委員会事務局の報告】

(2) とよおか教育プラン2022年度実践計画策定の進め方について

《教育総務課長の説明概要》

とよおか教育プラン2022年度実践計画策定の進め方について、資料に基づき説明する。

第4次とよおか教育プラン2022年度実践計画の策定の考え方として、原則2021年度実践計画の指標および取組を踏襲する。ただし、今般の新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた見直しを行う。

策定スケジュールは、1月中旬に関係課で素案の協議に入り、2月中旬から下旬にかけて教育委員協議会を開催し、意見提案をいただき、3月下旬の定例教育委員会で審議・決定いただく予定である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、こども教育課からの報告に移ります。(1) 2021 年度卒業（園）式・2022 年度入学（園）式の日程について、こども教育課長の説明をお願いします。

2 こども教育課

(1) 2021年度卒業（園）式・2022年度入学（園）式等日程について

《こども教育課長の説明概要》

2021 年度卒業（園）式・2022 年度入学（園）式の日程について、資料に基づき説明する。

2021 年度の卒業式は、中学校が 3 月 9 日（水）、小学校が 3 月 23 日（水）、幼稚園・認定こども園の卒園式は 3 月 17 日（木）に実施する。修了式は、小中学校が 3 月 24 日（木）、幼稚園・認定こども園が 3 月 18 日（金）となっている。

また、2022 年度の小中学校の入学式は、4 月 8 日（金）、幼稚園・認定こども園の入園・進級式は 4 月 12 日（火）に実施する。始業式は、小中学校が 4 月 7 日（木）、幼稚園・認定こども園が 4 月 11 日（月）となっている。

卒業式・入学式については、教育委員の皆さんの出席をお願いしたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(2) 問題行動等の状況について、こども教育課長の説明をお願いします。

(2) 問題行動等の状況について

《こども教育課長の説明概要》

問題行動等の状況について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

この頃の不登校は原因もきっかけも、ものすごく複合的で対応も個別に異なります。子どもの育つ場所はいろいろあるため、国も現在は学校に行くことだけを目的にしないという方針になっています。それぞれの場所を活用して自立する力を付けるため、国や県も不登校児童生徒の支援に関するガイドラインを作っています。そうした方針を知る保護者は「子どもを少し休ませよう」という選択をする場合もあります。不登校策は本当に難しくなってきました。

(向井委員)

その子どもに合った方法で育てる親が増えているのですね。

(教育長)

学校に来ていない子どもの対応をオンラインで行う学校がすごく増えてきました。オンラインを通して家でも勉強ができます。教室で授業を行っている様子をそのままオンラインでつなぎ、家にいながら質問もできます。本当は学校で顔を見て授業を行うのがよいけれども、学校に来れないならば、そうした勉強方法も可能であり、学力もつけることができます。

(教育長)

続きまして、(3) 豊岡市子ども支援センター活動状況報告について、こども支援センター所長の説明をお願いします。

(3) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども支援センター所長の説明概要》

豊岡市こども支援センター活動状況報告について、資料に基づき説明する。

不登校の取組状況は、ふれあいルームの通級指導生徒数は実数7人、延べ60人である。定期的に3人、不定期で4人が通所している。これまでに見学に来られた児童・生徒は10人程度であるが、通所に結びつかず、学校やスクールカウンセラー、保護者と連携し、タイミングを図り、登校支援や家庭訪問を働き掛ける予定である。水曜日夜間と土曜日午前に行っている教育相談は、不登校や友人関係に関する内容で、7人が利用した。

特別支援の取組状況は、電話相談は21件、センターへの来所や学校園訪問による教育相談は93件である。認知能力・知機能・知能テストなどは、21件実施している。

家庭児童相談の取組状況は、虐待通告を受けたものは4世帯8人である。4世帯とも父母からの身体的・心理的虐待であり、学校園からの通告があったものである。虐待によるあざや傷は、治療を要しない軽いケガであり、保護者による体罰はいかなる場合でも禁止である旨を指導した。育児ストレスが軽減できるよう子どもへの関わりを助言し、継続指導している。

ケース検討会議では、母子家庭の母親がアルコール中毒により精神科に入院したため、養育者不在で一時保護し、施設から通学していた中学生は、無事11月26日に家庭復帰した。訪問看護サービスや市社会福祉課生活援護係等と支援体制を徹底し、連携を取り見守っている。現在、生徒は自宅から通学しており、定時制の進学に向けて学校と連携している。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(佐伯委員)

お母さんは退院されたということでしょうか。

(こども支援センター所長)

はい。母親は10月末ごろに退院して、子どもと一緒におられます。子どもは家から学校に

通っています。

(教育長)

その他、ご質問等ありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、こども育成課からの報告に移ります。(1) 2022 年度幼稚園・保育園・認定こども園・放課後児童クラブの申込み状況について、こども育成課長の説明をお願いします。

3 こども育成課

(1) 2022年度幼稚園・保育所・認定こども園・放課後児童クラブの申込み状況について

《こども育成課長の説明概要》

2022 年度幼稚園・保育所・認定こども園・放課後児童クラブの申込み状況について、資料に基づき説明する。

2021 年 11 月 30 日受付締切時点の申込み状況について、幼稚園・認定こども園（1号認定児）では、全体の申込者数は 221 人であり、2021 年 12 月 1 日現在の園児数と比較すると、14 人減となっている。就園率は 4 歳児 16.9%、5 歳児 22.5%である。全体 221 人のうち、幼稚園のみの申込者数は 117 人であり、2021 年 12 月 1 日と比較すると、36 人減となっている。就園率は 4 歳児 11.4%、5 歳児 22.6%である。

なお、幼稚園では、22 クラスのうち 14 クラスが 5 人以下である。寺坂幼稚園については、申込者が 0 人であり、休園となる。

保育所・認定こども園（2・3号認定児）では、全体の申込者数は 2,350 人であり、昨年の申込者数と比較すると、17 人減となっている。特に 3 歳児は 40 人減、0 歳児は 28 人増となっている。申込率は、平均 76.6%で、昨年と比較し 2.9 ポイント増えている。2 歳児から 5 歳児は、8 割前後の申込率となっている。

放課後児童クラブでは、小学校の統廃合により、中竹野放課後児童クラブ、竹野南放課後児童クラブがなくなり、竹野南地区コミュニティセンター内に竹野第 2 放課後児童クラブの開設を予定している。全体の申込者数は 1,487 人であり、昨年の申込者数と比較し、10 人増である。全体 1,487 人のうち、小学生は 1,429 人であり、昨年と比較し 13 人増になっている。小学生の申込率は、38%であり、昨年と比較し 3 ポイント増えている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(向井委員)

放課後児童クラブは、申し込んだ人は希望どおり入れるのですか。

(こども育成課長)

申込み人数が増えている児童クラブもございますので、希望どおり入れないクラブもあります。今後、調整させていただき、できる限り希望どおり入ってもらいたいと思っておりますが、現段階ではなかなか難しい状況です。

(教育長)

その他、ご質問等ありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、これで各課からの報告を終了します。

【日程 第7 委員活動報告】

(教育長)

日程第7 委員活動報告に移ります。

(成田委員)

まずは、小中学校適正規模・適正配置計画説明会についてです。一言でいえば、私は事務局の対応や進め方に、敬意を払いたいと思っております。しっかりとした基本理念を持って、子どもにとって何が大切なのかということが一番大事に考えながら、繰り返し同じことを、何回も出向き説明し、粘り強く、穏やかな対応をし、説明会での声を聞き、出された意見を尊重しながら、今後も出向いていくという丁寧な対応をされています。各地域での説明会に何度か行かせていただいておりますが、そうした過程で段々と来てくださる方々の風向きが何となく変わってきた感じがします。事務局のご努力に敬意を払いたいと思います。課題はまだありますが、きっとよい方向に解決していくと思います。

説明会では、事務局が再編に関する基本的な方針を説明していくわけですが、参加している地域の方や保護者にとっては、説明を通じて、広い大きな視点に立って、豊岡の教育はどうあるべきか、豊岡の未来はどうあるべきかと考えを巡らせていらっしゃるのではないかと思っております。単に参加者自らの狭いエゴだけで意見を述べるのではなくて、広く豊岡の未来を考え、自分たちが主体的に関わることができないだろうかという機運が出てくれば、嬉しいことだと感じました。

それから、市議会についてです。傍聴には行けなかったのですが、質疑・質問要旨等の資料を熟読させていただきました。議員がたくさん代わられて、若い議員が増えました。質問要旨資料を見ていると、教育のことについてよく勉強されて、臨んでおられることが分かり、嬉しく思いました。新しく議員になられた方にとっても、以前から議員になられていた方にとっても、議会での質問を通して、豊岡の教育について知っていただくよい機会になると思っております。教育は、豊岡のまちを牽引していくものであり、夢や理想を培う最大のものになると思います。政治的にも非常に重要なものだと思いますので、新しく議員になられたことを機に、豊岡の教育を知り、

教育委員会の進め方を理解していただく機会にしてもらえればありがたいと思いました。

また、子どもたちが毎朝、どんなふうに登校しているのだろうと思い、寺坂小学校、福住小学校、弘道小学校の登校の様子を見に行ってきました。福住小と寺坂小は似たような感じがしました。毎朝、子どもたちは、たくさんの地域の方と一緒に登校してきます。弘道小学校は、子どもたちだけで登校してきます。私が安全ボランティアのジャンパーを着ていたのので、子どもたちは並んできちんとお辞儀をしてくれて、大変感心いたしました。

福住小学校の前に通学バスが止まると、校長先生はバス停まで行って、降りてくる子どもたちを一人一人出迎えて、毎朝、子どもたちと一緒に学校に行かれています。学校前の家の地域の人もその時間に合わせて、子どもたちの様子を見守っておられ、お互いにあいさつを交わす光景も見ることができました。小規模校では、そのような地域とのつながりがしっかりとあります。学校がなくなったら困るという声の中には、そうした光景が見られなくなる、関わられなくなるという地域の方の気持ちがあると思いました。小規模校のため、統合は仕方ないことではありますが、地域のつながりという意味では、この光景を忘れずに心に留めておかなければならないと思いました。

(佐伯委員)

サンタクロース会議を見させていただきました。子どもたちが公演の始まる前からワクワクしているのが手に取るように分かりました。見ているこちらがとても嬉しくなりました。子どもたちは、参加型演劇でたくさんの意見を言っていました。毎年、小学2年生が参加しているのですが、今年度もいろいろな意見が出て、とても楽しんでいる様子が分かりました。感想に「サンタさんや小人が見ているので、これからもよい子でいたいと思った」とあるように、しっかりと内容を理解していると感じました。小人さんがサンタさんの代わりに、自分たちをチェックしているということを感じ取ってくれていたのので、よかったですと思いました。

それから、出石永楽館狂言鑑賞教室に行った子どもたちにも感想を聞いてみましたが、「とても面白かった」というものが多かったです。気難しい感じの感想が聞かれるのかと思いましたが、「とても面白かった。また見に行ってみたい」という子どももおりましたので、大変よい機会になったと思います。コロナが少し落ち着いて、サンタクロース会議が開催されました。そして、出石永楽館狂言鑑賞教室も時期は少しずれましたが、開催していただくことができ本当によかったです。来年度も引き続き、子どもたちが参加できる生のステージや公演を開催していただきたいと思います。

(向井委員)

日高小学校が参加するサンタクロース会議に行かせていただきました。子どもたちは素直で、すぐにその場に溶け込んでいて、とても楽しんでいたと思います。あのような時間を共有できる貴重な体験を、来年度以降もぜひ続けていただきたいと思いました。

それから、小中学校適正規模・適正配置計画説明会については、事務局の皆さん、大変お疲れさまでした。ここ数年、同じことを何回も繰り返し、丁寧に対応してくださっていることに頭が下がる思いです。その中で、就学前の子どもがいるお母さんたちから、「統廃合はこれからの自分たちの生活設計に大きく関わってくることであり、先の見通せない中、そこに住むこと自体に不安を感じる」という意見があり、とても重いことなのだと改めて感じさせられました。そうし

た方々にとっては、統廃合の時期も含め、少しでも早く情報がほしいのだろうと思いました。今、就学している子どもの親だけではなく、未就学の子どもの親にとって、今後の生活設計に関わってくることなので、できるだけ早く情報提供ができるようにと願っています。

(飯田委員)

サンタクロース会議と小中学校適正規模・適正配置計画説明会に行かせていただきました。サンタクロース会議については、子どもたちは、皆「はい」と元気よく手を挙げて、発言していたので、私たちのころとは全然違うな、素晴らしいなと思いました。

小中学校適正規模・適正配置計画については、事務局の皆さん、本当にお疲れさまでした。計画は概ね理解が得られているという印象を受けました。説明会の開催回数を増やせば増やすほど、いろいろな意見が出てきて、言いやすい環境になっていると感じました。回を重ねることも大事だと思いました。今後の校区説明会のときに出席させていただけるのであればありがたいと思います。

【日程 第8 教育委員会活動予定】

(教育長)

続きまして、日程第8 教育委員会活動予定に移ります。会議予定や今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第10回教育委員会会議は、1月21日(金)午後1時30分から、本庁舎7階第2委員会室で開催する。また、第11回教育委員会会議は、2月14日(月)午後1時から、本庁舎7階第3委員会室で開催する。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

(教育長)

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、次回の教育委員会会議は、1月21日(金)午後1時30分から、本庁舎7階第2委員会室で開催します。

これもちまして、第9回教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午後 2 時30分

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2021年12月23日

教育長

委 員